

小学生異文化体験学習を実施しました。



テーブルマナーを学ぶランチ



笑顔で楽しむ児童



ジェスチャーゲームの様子



館内を見学する児童



積極的にゲームに参加



スコーン作りを体験する児童



楽しく学習中

6月5日(金)二小の目黒公三校長を派遣団長として、一小、二小の6年生と引率者、合わせて40名が、天栄村のブリティッシュ・ヒルズを訪れました。

この事業の目的は、自然環境の豊かな場所で、子どもたちが心身をリラックスさせるとともに、ブリティッシュ・ヒルズ(イギリス文化環境研修施設)における、生きた異文化体験活動を通して、グローバル化する国際感覚を身につけることです。

6月4日(木)事前研修会が二小で開かれ、団長から「英語とイギリスの文化を学ぶ、ルールを守り楽しもう」と挨拶があり、児童は「一小二小の仲間が協力して素晴らしい体験学習にする」「異文化の様子を学びながら今まで学習してきた英語を使う」など目標を確認しました。当日、施設に到着すると外国人講師が児童を出迎え、活動がスタートしました。最初にオリエンテーションを受けた後、講師の案内でグループ毎に館内を見学しました。イギリス貴族の

暮らしを感じさせる建物や館内の調度品などを目の前に文化の違いを感じ、遠い異国の地へ思いを募らせていました。

その後、講師による英会話のレッスンがあり、日常的な会話、楽しいゲームや活動を通してクラスの仲間と英語で質問し合うなど、英語を話すことへの意欲を高めました。

また、イギリスの伝統的なお菓子であるスコーンを作るレッスンでは、英語での説明を聞きながら、みんなで協力しておいしいスコーンを作ることができました。

昼食は、英国式の素敵なレストラン会場でテーブルマナーを意識しながら、洋食をおいしくいただきました。

最後に、終了のセレモニーが開かれ、一人ひとりに修了証が手渡されると、児童は、「Thank you!」と大きな声でお互いに感謝の言葉をかけ合いました。たくさん英語に触れた一日でしたが、疲れた様子も見せず笑顔で体験学習を終えました。